

個人活動レポート

熊本市節水推進パートナーシップ会議委員 中村 真由美 様

楽しみながら行うことが 節水活動を続ける秘訣です

「水を大切にするのは、幼い頃から当り前のこと。水の便が悪い場所に住んでいて、祖母は節水の意識の高い人でしたから」とフリースペース『憩舎(いこいや)』の中村さん。

人の出入りが多い場所だからこそ「みんなの意識を高めることが大事」と啓発活動にも積極的。水周りには、使用した水を二次利用するためにためのバケツを用意するなど、利用者みんなが節水活動に参加できるように工夫しているそうです。ちなみに、二次利用とは食器や手を洗った水をバケツにためて、汚れの度合いに応じて雑



食器洗いには、洗剤の使用量が少なく済むアクリルたわしを使用。油污れは古い電話帳でふき取ってから洗うなど、炊事にも工夫がいろいろ光ります。



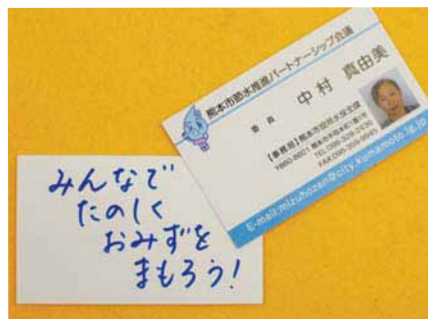
洗面台には洗面器を、足元にはバケツを用意。お風呂の残り湯と合わせて二次利用へつなげます。



バケツにためた水は、庭木の水まきや打ち水にも利用。草木も元気いっぱい。

中村 真由美 様の主な取り組み

- 手洗いや炊事で使った水はバケツにためて、汚れの度合いに応じて雑巾や車を洗ったり、庭木の水まきなどに二次利用する
- 食器を洗うときは洗剤の使用量が少なく済むアクリルたわしを使う。また、油污れは古い電話帳でふき取ってから洗う
- 水道の蛇口の節水コマはもちろん、節水グッズを多用。
- 水量計のコックを少し絞って、たくさん水が出ないようにする。
- トイレの流水にはタンクの水を使わず、お風呂の残り湯と洗面所の洗面器の水を使う。
- 施設の利用者、さらに周りの人たちへの節水活動の啓発を行う



名刺の裏には自筆のメッセージ入り。イベントなどの時にも、参加者へこの言葉で呼びかけるそう。

巾を洗ったり車を洗ったり、庭木の水やりにも再利用すること。「少しの水でいろんなことができるんですよ」と中村さんは言います。

また、お風呂の残り湯は洗濯に利用。水道の蛇口には節水コマを設置と、節水への取り組みはさまざま。さらに、自身の熊本市節水推進パートナーシップ会議委員の名刺の裏には「みんなでたのしくおみずをまもう！」という手書き文字も添えられています。「楽しみながら節水しないと続きませんから」と中村さん。今後はさらに節水の啓発に力を入れていくそうです。

知っていますか？水の風土と文化を伝える



熊本水遺産

熊本市には昨年「平成の名水百選」に選ばれた金峰山湧水群や水前寺江津湖湧水群など多くの湧水がみられ、水文化も根付いています。熊本市の水の風土と文化を後世に伝えるため、市民共有の財産として平成18年度に市民の皆様から候補を募集し、熊本水遺産委員会の審議を経て、湧水、食、土木建築、祭り、風習など有形・無形を問わず、「熊本水遺産」として現在60件(平成21年11月現在)が登録されています。

釣耕園 庭園



藩主細川綱利が御茶屋を造ったことが園の始まり。米田松洞が庭の景観を「釣月耕雲」と詠んだ。飛び石を配した池に山溪を取り入れている。(島崎5丁目)

加藤清正 人物



熊本の基礎を築いた治水・利水事業は今なお、熊本市民の尊崇を集める。土木の神様、治水の神様と称され、いまでも熊本市民の暮らしに恩恵を与えている。

水前寺のり及びスイゼンジノリ発生地 食・産業



江戸時代に熊本藩が幕府へ献上していた高級品で、今も郷土料理店などで重宝される。上江津湖は「スイゼンジノリ発生地」として国指定の天然記念物である。

川尻の精霊流し 祭り・信仰・風習



江戸時代から続く川尻の伝統行事で、八月十五日夜、加勢川に万灯笼と精霊船が流され、お盆で迎えた霊を送り出す。熊本の夏の風物詩。

中無田閘門 土木・建築物



天明のミニパナマ運河。加勢川下流に六間堰ができたため、昭和17年に加勢川と緑川を結ぶ閘門が設けられた。木製ゲートを持つ現役の閘門としては日本唯一。(中無田町・富合町)

水道町 地名



水道町の地名は、江戸時代に消火用の水道が通っていたことに由来する。その後、埋め戻されて今はないが、水道町の地名がこの歴史を伝えている。

めぐりませんか。 熊本水遺産！

熊本の水の名所・見所は水前寺成趣園や江津湖だけではありません。ここでは平成の名水百選に選ばれ、熊本水遺産にも登録されている「金峰山湧水群」の湧水地をいくつか紹介しています。市内には他にもたくさんさんの熊本水遺産があります。



お手水 (花園7丁目)

神武天皇の皇孫・健甕龍命が手水に使ったことに由来。加藤清正や藩主細川綱利も使用した伝承をもつ湧水である。水量が豊富で養鱒場に利用されている。



成道寺 (花園7丁目)

熊本の山水庭園の代表格。モミジや桜、竹林に囲まれ、清水が注ぐ池と苔むした静かな庭は、漱石などの文人・画人からも愛されている。



雲巖禅寺 (松尾町平山)

雲巖禅寺は平安期から岩戸観音として知られ、宮本武蔵が五輪書を書いたことも有名な古刹。古来より金峰山麓の湧水を寺の水とし、武蔵も飲んだという。



延命水 (島崎5丁目)

共同の水場で石段があり、地域の人たちが野菜などを洗う姿を見ることが出来る。生活との結びつきが強い湧水である。釣耕園や養鱒場の水源でもある。



このたび、熊本水遺産を紹介したマップを作成しました。このマップを片手に水遺産めぐりをしてみませんか。熊本市水保全課(市役所本庁7階)で配付しています。

